

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

子育て応援課

1 施設の概要等

施設名	府中市こどもの国ポムポム		
所在地	広島県府中市土生町1581-7		
設置目的	こどもに考え、学び、遊ぶ機会を与え、自然に囲まれた環境で個性を創造性を育み、木をこどものころから身近に使っていくことを通じて人と森、木との関りを主体に考えることのできる豊かな心を醸成するとともに、郷土へ愛着心を深め、もっとこどもの健全な成長に寄与することを目的として設置		
施設・設備	府中市こどもの国「こどもの広場」「桜づつみ」「水辺のプラザ」及び「府中市児童会館」		
指定管理者	R4.4.1	～	R9.3.31 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)中四国支店

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	150,000 人	130,842 人	101,906 人	-19,158 人	87.2 %
R5	150,000 人	177,843 人	47,001 人	27,843 人	118.6 %	
R6						
R7						
R8						
増減理由	R5/館内119,293人/大型遊具58,550人 合計177,843人 新型コロナウイルス感染症の5類移行による利用者の増					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用アンケート実施	全来場者を対象100件/館内利用者希望者のみ49件
	インスタグラムやホームページなどのメッセージ	20件
	自主事業のアンケート実施	教室受講者(そば・料理・お菓子教室 等)150件
	【主な意見】	【その対応状況】
	●室内が暑いため、もう少し設定温度を下げたい	●窓をあけての換気や設定温度も状況を見て下げる
	●食べ物の販売が少ない	●土日祝のみキッチンカー2件呼びかけをしたり、冷たい飲み物・アイスの販売を夏季のみ行っている ●館より歩いて行ける飲食店の紹介をSNSで発信

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	決算報告書など		
	月報	○	月次報告書		
	日報(必要随時)	○	売上・来館者の管理のみ		
管理運営会議		【特記事項等】			
4 回 会場 市役所					
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】 ・引き続き報告と意見交換、連携を図らせていただく			
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】 令和5年11月 監査
6月	7月	8月	9月	10月	
11月	12月				
○					

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	49,830	0		R4	0	0
R5	49,830	0	R5	0	0		
R6			R6				
R7			R7				
R8			R8				

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等	
委託事業	収入	市委託料	49,830	49,830	0	
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	49,830	49,830	0	
	支出	人件費	33,217	31,324	-1,893	従業員減のため
		光熱水費	3,949	4,148	199	光熱費高騰のため
		設備等保守点検費	1,640	3,390	1,750	
		清掃・警備費等	1,759	925	-834	
		施設維持修繕費	17	0	-17	
		事務局費	4,988	6,912	1,924	
		その他支出	8,973	9,241	268	イベント開催等の費用増のため
	計(B)	54,543	55,940	1,397		
	収支①(A-B)		-4,713	-6,110	-1,397	
	自主事業	収入(C)	7,671	12,306	4,635	来館者数増加に伴い収益増
支出(D)		1,331	2,136	805		
収支②(C-D)		6,340	10,170	3,830		
合計収支(①+②)		1,627	4,060	2,433		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
<p>総括</p>	<p>指定管理者として、令和5年度の管理運営ミッションを構築するため、子育て支援施設として利用者の安心安全な場所となるべく、職員一同業務に取り組んできました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SNSの情報発信 インスタ発信をほぼ毎日行い登録者数も4200人を超えた。 ●関連企業とのコラボ ●市内企業との連携 週末や長期休みのイベントや工作として積極的に取り組んできました。 ●中高生の利用促進 館内wi-fiをR5年3月に整備をし、中高生の館内滞在や来館が増えている(特に、水・土日)。 ●木育の推進 市内企業より廃木をいただき工作に再利用したり、協力企業を増やし人気のある工作への転換、ポムでのワークショップを行った。木育2か所の部屋で木のおもちゃの充実や木のままごとコーナーを設置し、木の魅力アップを行った。その際、使い方のPOPを置くなど遊び方の説明も添えるようにしている。 ●施設的环境美化 トイレ・大型遊具・草刈りを含む清掃・管理は清掃員・職員で取り組み、草刈り業務では、草刈りのための時間を確保し、草刈りを含む周辺的环境整備に努めた。 ●市内施設との連携 マイクロバス(ポムバス)をハイエースに切り替えをし運行中だが、あまり利用につながらないため、今後の課題 ●月1回(イコーレ・道の駅・一歩・天満屋・図書館・ポム 他)連携会議への参加 ●年3回子育て連携会議への参加 ●出張ポム(木のおもちゃ持参)ちゅちゅ・ふらっと上下 他 への参加 ●府中まちなか繁盛隊への入会を行い、市内事業所や店舗さんとの連携、情報交換を行う。 ●職員の適正数配置 有資格者/常勤4名 適正配置 	<p>施設の維持管理について、適切に行われている。利用者については、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、目標値を大きく上回った。市内企業との連携を図りながら、集客に向けた取組みを積極的に行っている。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
<p>課題と対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの実施状況を検証するとともに継続運営に全力を尽くす ●水辺のプラザ・ポム小路の改修工事に向けて市との連携を図る ●賑わい、回遊性を市全体へ拡大させられるよう関係施設等と連携した事業展開に取り組む ●木育の推進 連携企業を増やし、ノウハウを学んだり、職員のスキル向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な施設の利用のための施設管理を引き続き行うとともに、施設的环境美化への取組 ○市内他施設(i-coreFUCHUなど)への回遊性のある、連携した事業展開への取組